

物理学第二分野 修士論文発表会ご案内

下記の通り、修士論文発表会を開催します。

日時:2025年2月3日(月)4日(火)

場所:理学研究科5号館 525号室

発表時間:15分+5分(質問)

発表の順番、研究題目は下記のとおりです。

2月3日(月)

1. 星周物質のX線精密分光によるIa型超新星残骸
Kepler's SNRの伴星推定 穴澤 萌衣 (9:00)
2. 核子超流動の性質解明に向けた(α ,He6)反応の微分
断面積測定 池水 玄 (9:20)
3. 原子核の高励起対振動探索のための(α ,6He)反応スペ
クトルの多重極展開解析 伊津野勝英 (9:40)
4. 磁気スペクトロメータS-2Sの高分解能実現に向けた解析
手法の研究 岩井 沙彩 (10:00)
- 《 休 憩 》
10分
5. Jlabにおける($e,e'K^+$)反応を用いた高精度ラムダハイ
パー核分光実験のトリガー設計 岩本 哲平 (10:30)
6. 原子核乾板を用いたニュートリノ反応精密測定のための
新型シンチレーショントラッカーの開発 大谷 尚輝 (10:50)
7. 1次元長期間進化計算による長寿命原始惑星系円盤の
進化過程の研究 大山 航 (11:10)
8. J-PARC MARQ 実験のためのMPPC読み出し回路
CIRASAMEの運用試験およびビームファイバー飛跡検
出器の性能評価 岡崎凜太郎 (11:30)

《 午 後 》

9. CMB実験に用いる希釈冷凍機の性能評価と電波吸収体の開発 笠井優太郎 (13:00)
10. CMB観測実験GroundBIRDの焦点面検出器アライメントと長期運用に向けた角度データ取得システムの最適化 片岡 敬涼 (13:20)
11. θ 項をもつ2次元コンパクトボソンの解析 片山 颯 (13:40)
12. MARQ 実験用 Multi-gap Resistive Plate Chamber のための新素材高圧印加電極の開発 小池諒太郎 (14:00)
13. 鉄輝線のパルス遅延によるX線連星4U 1538-522での自転公転整列の観測的検証 斉藤裕次郎 (14:20)

《 休 憩 》
20分

14. 漸近対称性に映るゲージ理論の赤外構造について 清水 慧人 (15:00)
15. de Sitter時空におけるホログラフィ原理とバルク再構成 新名宏太郎 (15:20)
16. γ - γ 摂動角相関法を用いたIn錯イオン形成における超微細気泡の作用 竹下 清人 (15:40)
17. 混合状態の対称性・相転移とホログラフィー原理 田耕 健也 (16:00)
18. SCRIT実験におけるルミノシティモニター用位置検出器の開発 立花万梨子 (16:20)

2月4日(火)

19. 相対論的ハートリー・フォック理論によるスピン偏極核物質の状態方程式の研究 橋 刀生 (9:00)
20. 高感度MeVガンマ線観測実験SMILE-3に向けた μ -PIC読み出し基板の開発と放射性廃棄物の放射能測定 塚本 博丈 (9:20)
21. 非定常過程におけるブラックホールエントロピーの定義について 徳竹 温也 (9:40)
22. ベクトルテンソル重力におけるブラックホール摂動の有効理論 富塚 祥伍 (10:00)
- 《 休 憩 》
10分
23. ^8He におけるdineutron相関およびmonopole励起における3体クラスター相関 中川 昂星 (10:30)
24. 高輝度LHC-ATLAS実験に向けた初段ミュオントリガーアルゴリズムの最適化 中川 徹郎 (10:50)
25. 中重核領域の陽子弾性散乱測定を用いた新反跳陽子テレスコープの性能評価 中田 智也 (11:10)
26. 超伝導デバイスSISミキサを搭載したミリ波受信機によるダークフォトン探索研究 埴村 圭吾 (11:30)

《 午 後 》

27. Simons Observatory実験で用いる偏光角較正装置の系統誤差に関する研究 星野 大輝 (13:00)
28. 一般化対称性の破れた相における分配関数のふるまいについて 前田 潤 (13:20)
29. 電子蓄積リング(SR2)におけるビーム安定化のためのHOM減衰空洞の設計とランダウ空洞の実装 前田 裕成 (13:40)
30. MoMoTarOのISS搭載に向けた陽子照射試験と軌道上でのバックグラウンドレートの推定 前田 涼太 (14:00)

《 休 憩 》
20分

31. U(1)バリオン対称性のゲージ化とクォークハドロン連続性 武藤 永治 (14:40)
32. AdS/CFT対応における波束を用いた解析 吉川 史起 (15:00)
33. 自己閉じ込め型不安定核標的(SCRIT)における標的イオン状態の研究 吉田 暁 (15:20)
34. Lee-Yang ゼロを用いた臨界点探索 和田 辰也 (15:40)